

安全衛生・兵庫

道を開く。新年を迎えて

■道…いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、ともかくもこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。たとえ遠い道のように思っても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。

■素直に生きる…逆境は尊い。しかしまた順境も尊い。要は逆境であれ、順境であれ、その与えられた境涯に素直に生きることである。謙虚の心を忘れぬことである。素直さを失ったとき、逆境は卑屈を生み、順境は自惚(うぬぼれ)を生む。

■手さぐりの人生…いくつになってもわからないのが人生というものである。世の中というものである。それなら手さぐりで歩むほか道はあるまい。わからない世の中を、みんなに教えられ、みんなに手を引かれつつ、一步一步踏みしめて行くことである。謙虚に、そして真剣に。

■自然とともに…春になれば花が咲き、秋になれば葉は枯れる。草も木も果実も、芽を出すときには芽を出し、実のなるときには実を結ぶ。枯れるべきときには枯れてゆく。自然に従った素直な態度である。そこには何の



私心もなく、何の野心もない。無心である。虚心である。だから自然は美しく、秩序正しい。■心の鏡…自分の周囲にある物、いる人、これすべて、わが心の反映である。わが心の鏡である。すべての物がわが心を映し、すべての人が、

わが心につながっているのである。もうすこし、周囲をよく見たい。もうすこし、周囲の人の声に耳を傾けたい。この謙虚な心、素直な心があれば、人も物もみなわが心の鏡として、自分の考え、自分のふるまいの正邪(せいじや)が、そこにありのままに映し出されてくるであろう。

■長所と短所…それは人間のいわば一つの宿命である。その宿命を繁栄に結びつけるのも貧困に結びつけるのも、つまりはおたがいの心くばり一つにかかっているのではなからうか。

■根気よく…どんなによいことでも、一挙に事が成るといふことはまずあり得ない。また一挙に事を決するといふことを行なえば、必ずどこかにムリを生じてくる。すべて事は、一步一步成就するといふことが望ましいのである。

■思い悩む…わからなければ、人に聞くことである。己の力にとじこもらないで、素直に謙虚に人の教えに耳を傾けることである。
(松下幸之助の短編随想集より抜粋)

運転能力を過信してはいないか

交通ルールを守っていますか

規制速度を超えて走行したり、追い越し禁止場所で追い越しをしたり等の違反行為は、事故に遭遇する危険性を高めるだけでなく、交通の流れを乱し他車の事故を誘発する原因にもなります。交通ルールの遵守は運転者の最低限の義務であるとともに、安全運転の基本であることを忘れないようにしましょう。

危険を予測した運転を心がけていますか

事故を起こさないためには、交通場面に潜む危険をできるだけ早く予測し、危険を回避する適切な行動をとることが重要です。



・周囲の状況をよく見る。

・飛び出し等、周辺の通行者の行動を理解する。
・見通しの悪い場所や駐車車両の陰など見えな
いところに注意する。

体調が悪く無理をして運転をしてはいないか

疲れていたり風邪など体調が悪い時に無理をして運転をすると、集中力や注意力が薄れるだけでなく、操作の的確さや俊敏さも低下して事故につながる危険性が高まります。

運転能力を過信してはいないか

運転能力を過信するなどのような状況でもハンドルやブレーキ操作で危険を回避できると思い込み、スピードを出してカーブに進入したり、車間距離を極端に詰めるなどの危険運転をしがちです。優れた運転能力とは危険を潜り抜ける能力ではなく、危険を作り出さない能力だと考えて、決して過信せず、周囲の車や歩行者に不安を感じさせない運転を心がけましょう。

ちょっとしたことでもイライラしたりカッとするのはないか

他車に強引に割り込みをされた時などは、イライラしたりカッとするものがありますが、しかし、運転が荒っぽくなるだけでなく、正常な認知や判断ができなくなる恐れがあります。事故を起こす危険性が高くなると認識し、常に平静さを保つようにしましょう。

心新たに安全衛生

心新たに新鮮な気持ちで輝く新年をお迎えのことと思います。

一人ひとりが、初心に返り、今年も災害のない職場を目指して、声を掛けあい頑張りましょう。



発行 兵庫森林管理署 安全衛生委員会